

頼清徳副総統 米経由で南米パラグアイ訪問



パラグアイ大統領の就任式に参加(写真:中央社)
台湾頼清徳副総統は8月12日、南米で唯一台湾と外交関係を持つパラグアイ訪問のため桃園国際空港を出発した。頼氏の公式外国訪問は2020年の副総統就任以来3回目、新型コロナウイルス後は初めて。出発前に空港で取材陣に談話を発表した「今回の外遊を通じて民主主義、自由、人権を堅持する台湾の立場を国際社会にアピールしたい」と意気込んだ。

米ニューヨークで台湾華僑と交流 「台湾が安全なら世界は安全」

頼氏は8月13日(現地時間)、経由地の米ニューヨークに到着した。台湾華僑らが開いた歓迎レセプションに出席し「台湾が安全なら世界は安全。台湾海峡が平和なら世界は平和になる」と強調し「増大する全体主義の脅威を恐れず、後戻りしてはならない」と訴えた。
レセプションには700人余りが参加。蕭美琴駐米代表や米国の台湾窓口機関、米台協(AIT) のイングリッド・ラーソン執行理事らも出席した。
レセプションの外では中国華僑による抗議活動が行われ「台湾は中国の一部だ」や「台米連携は中国への挑発だ」などのス



経由地のLAに到着(写真:中央社)
ローガンを掲げた。

パラグアイのベニヤ次期大統領と会談

頼氏は同14日、就任を翌日に控えるパラグアイのベニヤ次期大統領と会談した。同日夜に華僑との食事会に参加し「新政権が民主主義の台湾との国交を必ず維持すると強調し、台湾との協力関係の深化に期待している」と明らかにした。頼氏は「将来両国の友好関係はさらに強固になり、協力関係はさらに深まるだろう」との認識を示した。
またこの日、頼氏は現職のアブド大統領や上院議長とも面会。「両国の協力がパラグアイ議会の支持を得て、双方の友好関係がより安定し、協力計画がより一歩踏み込んだ内容になる」と期待した。
頼氏は翌15日に開かれた就任式で、世界のリーダーらと交流し、各国の代表団や使節と面会した。蔡英文総統が掲げる台湾の民主主義や自由、人権の価値に対する堅持や台湾人の温かさ、グローバル・ビレッジの責任を果たす意欲を説明し「インド太平洋地域の平和と安定維持に全力を尽くす意欲がある」と述べた。
台湾の韓志正駐パラグアイ大使は頼氏の

訪問について「現地の職員の士気と華僑の政府に対する求心力を高めた」と語った。

記者団との懇談会

「中国の脅威は利益にならない」
頼氏は同15日、パラグアイ現地で同行記者団との懇談会で、台湾政府の要人が米国立ち寄りでの外国訪問について「以前から行われてきたものだ」と言及した上で「中国は立ち寄りを文攻武嚇(言葉で攻撃、武力で威嚇)の口実にする必要はない」とし、中国自身の利益にもならないと訴えた。

さらに台湾で米国の意図や行為を疑問視する「疑米論」や、頼氏自身の兩岸関係政策を巡って米国が懸念している「疑頼論」に対し「いずれも中国の宣伝だ」と反論。「米国の台湾に対する支持やインド太平洋の平和と安定を守る決意には疑いの余地がない」と力強く言明した。

復路で米サンフランシスコ経由、 中国系住民が抗議

パラグアイ訪問を終えた頼氏は、現地時間同16日午後、経由地のサンフランシスコに到着。空港に降り立つと、AITのローゼンバガー理事長や蕭美琴駐米代表が出迎えた。宿泊先のホテル前では台湾華僑数百人が頼氏を歓迎した一方で、中国系住民100人余りが詰めかけ、頼氏の来訪に抗議した。
また同18日、頼氏は台湾に帰国。空港での記者会見で「国際社会は非常に台湾を重視している」との認識を示し「国や社会への貢献により、国際社会の支持を獲得している国民の努力に改めて感謝したい」と述べた。

日米韓首脳会談 「台湾海峡の平和と安定」を再確認



3国が「台湾海峡の平和と安定」を再確認(写真:首相官邸)

岸田文雄首相と米国のバイデン大統領、韓国の尹錫悦大統領は8月18日、米ワシントン郊外の大統領山荘キャンプデービッドで会談し、共同声明を発表した。声明では地域情勢を巡って中国による現状変更に関し強く反対するほか、会談の定例化やサプライチェーン構築に向けた連携強化なども盛り込んだ。
「キャンプデービッドの精神」と題した共同声明では、有事を含む安全保障上の脅威などが発生した場合、迅速に情報共有し、協調したメッセージを発信するため、3カ国で協議することを確認。インド太平洋地域における安全保

障を巡り、局長級の「インド太平洋対話」の創設や、偽情報に連携して対応するシステムの導入、さらに東南アジア諸国連合(ASEAN)や太平洋島嶼国への支援として、新たに海洋安全保障分野の協力枠組も新設する。

地域情勢を巡っては「中国による不法な海洋権益に関する主張」と中国を指名し、南シナ海や台湾海峡の平和と安定の重要性も再確認した。3首脳は台湾に関する基本的立場に「変更はない」とした。

バイデン大統領は共同記者会見で「我々は新しい形で共に協力していく。何十年という関係を築いていくためのものだ」と会談の意義を強調した。

これを受けて台湾外交部は同19日「心からの歓迎と感謝」と示した。同部は「日米や米韓などの首脳会談や先進7カ国首脳会議(G7サミット)などの共同声明でも、台湾海峡の平和と安定の重要性は世界的な共通認識であることが示されている」とコメントした。

なお、中国国営メディア新華社通信は同日夜、日米韓首脳会談について「中国脅威論というデマを拡散させた」と批判する評論を配信した。

中国軍が台湾周辺で軍事演習 次期総統選へのけん制か



謝長廷駐日代表は中国軍を批判(写真:中央社)

中国軍は8月19日、台湾周辺で大規模な軍事演習やパトロールを実施したと発表した。軍の関係者は「台湾独立派や外部勢力の挑発に対する嚴重な警告」としており、台湾の頼清徳副総統が南米パラグアイ訪問のために米国立ち寄りしたことへの対抗措置とみられる。頼氏は来年1月の総統選で与党民進党の公認候補で、今後の選挙情勢に影響を与える可能性がある。

中国軍で台湾海峡事務を管轄する東部戦区によると、演習は台湾の北や西南の海・空域で実施。多数の軍艦、戦闘機な

どが参加し、海軍や空軍、ロケット軍が連携する統合演習の実戦能力を確認した。台湾国防部は同20日「同日午前6時までの24時間に中国の軍用機延べ45機を確認し、このうち延べ27機が台湾海峡の暗黙のラインである「中間線」を超え、台湾南西の空域にも進入した」と明らかにした。

中国軍の行動に対し、台湾国防部は「非理性的な挑発行為だ」と強く非難した上で「適切な兵力を派遣し、実際の行動で台湾の主権と自由、民主主義を守っていく」と述べた。

一方、台湾総統府の林春徳報道官は記者会見で「地域に不安を与え国際社会に迷惑をかける一方的な行動を直ちにやめよう」と呼びかけた。さらに同氏は同18日に行われた日米韓首脳会談にも触れ「国際社会が何度にもわたって台湾海峡の安定の重要性を訴えていた」とし「中国が国際的な責任を無視した」と批判した。

台湾の対日本窓口機関、台北駐日経済文化代表処の謝長廷代表は同20日、台湾華僑が主催した講演会に出席した後、報道陣の取材に対して「中国軍の行動は台湾から反感を買うだけだ」と非難した。

台湾、中米議会脱退で 中国入会議案に抗議



中米議会、中国を迎え入れ(写真:中米議会 PARLACEN)

中米統一を目的とした中米議会が台湾を排除して中国を迎え入れる議案を可決したのを受け、台湾外交部は8月22日、政府として「最も厳正な抗議」を表明し「台湾は同議会を即日脱退することを決めた」と発表した。

議案はニカラグア議員団と一部の親中議員から提出され、同21日に可決された。同議会は中米6カ国で構成され、台湾は1999年に域外オブザーバーとして加盟していた。

台湾外交部は声明で「ニカラグア議員団らが台湾の長年の貢献を無視し、議会内部の分断や中米地域の民主主義と調和の破壊をいとわずに、物議を醸す同議案を『是が非でも推進し、議会をそのかの

して可決させた」と批判。さらに「ニカラグアのオルテガ独裁政権が中国の手先になり下がって中米議会における台湾の権益を奪い、台湾と中米の人々の長年来的協力関係と友情を著しく傷つけた」とし「中国が時間をかけて策を練り、米国の民主主義を破壊し、地域での拡張を狙う野心が浮き彫りになった」と指摘した。

さらに外交部は、中国とニカラグアの両国が中米議会で粗暴に台湾の権益と地位を損なわせたことに対し「政府として強く非難する」と表明した。「中華民国(台湾)は主権が独立した国家であり、中華人民共和国とは互いに隷属しない。これは事実であり現状だ」と改めて言明し、中国の文攻武嚇(言葉で攻撃、武力で威嚇)に屈せず、自由と民主主義の価値観を固く守り、国交を有する国や理念の近い国と共に地域の平和と安定の維持に尽力していく姿勢を示した。

中米議会は1991年、中米統合機構(SICA)の立法機関として設立された。グアテマラ、エルサルバドル、ホンジュラス、ニカラグア、パナマ、ドミニカ共和国が加盟している。ニカラグアは2021年12月、台湾と断交し、中国と国交を樹立した。

鴻海創業者郭台銘氏 次期総統選に出馬表明



次期総統選に出馬へ(写真:中央社)
台湾の鴻海精密工業の創業者、郭台銘氏は8月28日、次期総統選に無所属で出馬す

ると表明した。郭氏は「今の民進党政権は台湾をあと一歩で戦争に引き込まれるところに引き連れた」と批判し、政権交代の必要性と野党の連携を訴えた。
郭氏は2019年に同社トップを退き、野党国民党の総統選立候補に出馬したが、党内予備選で当時の韓国瑜高雄市長に敗戦し、候補指名を獲得できなかった。今年は改めて国民党の立候補に出馬する意欲を示したが、国民党は侯友宜新北市長を指名したため再び獲得できなかった。
その後郭氏は「主流民意大連盟」を召集し、台湾各地を動きまわって選挙活動を行ってきた。同23日、郭氏は台湾の離島金門県を訪れ「金門平和宣言」を発表し、対中関係の改善に力を尽くすとの姿勢を示した。また国民党の侯友宜新北市長や民衆党の柯文哲前台北市長などの野党の総統選立候補に対し「政権交代を実現するため、

野党の連携が必要だ」と呼びかけ、自らの次期総統選への出馬を諦めなかった。
郭氏は同28日の記者会見で「今後は総統選立候補として出馬する」と正式表明し「今までの人生は政治にあまり関わっていなかったが、この7年間民進党の悪政により、台湾は外交のみならず、経済状況も悪化し続けてきた。今こそ政権交代を果たし、台湾を救うのだ」と語った。
また自身の政策として郭氏は「米中関係に影響されず、台湾はウクライナの状況に決するわけにはならない」と表明。「政府機能の効率化を重視し、20年をかけてアジアにおいて最も国内総生産(GDP)が高い国になって見せる」と宣言した。
なお台湾の「総統副総統選挙罷免法」によると、無所属の候補者の出馬には連署の段階があり、今回の連署人数は29万人以上の署名が必要とされる。

歩行者の事故死ゼロ求めデモ 次期総統選全候補が参加



交通事故の改善を誓った(写真:中央社)
台湾で歩行者の安全問題への関心が高まる中、交通安全の向上を求めるデモ行進が8月20日、台北市内で行われた。参加者は「歩行者の事故死ゼロに」の目標推進などを訴えた。デモ開始前には土砂降りの雨に見舞われたものの、参加者は傘をさし、雨具を着て参加した。
台湾では昨年、交通事故により2700人以上の死傷者が出ており、欧米観光客から「歩行者の地獄」と揶揄(やゆ)されている。
デモは市民団体が主催。歩行者空間の比率を高めるなど歩行者用施設の改善の他、



交通安全改善を求めるデモは8月20日、台北市内で行われた(写真:中央社)
運転訓練や運転免許試験、運転者管理制度改革▽歩行者妨害の取り締まりなど歩行者の権利を守る法執行▽交通関連の法制度の再構築▽「歩行者の事故死ゼロ」目標の推進の一の5点を訴えた。
主催者の「歩行者の死亡ゼロ推進聯盟」は「さまざまな事故が国の制度上の欠陥によって引き起こされており、これは交通の暴力だ」と指摘。今回のデモは「人を中心とした考え方が欠けている現行の交通制度に対する不満を参加者が自らの足で表明

し、政府に対して即座に要求を聞き取るよう求めるのが狙いだ」と説明した。
また、今年5月8日に台南市で赤信号を無視した車と衝突に巻き込まれて亡くなった3歳の女児の父が会場に登壇し、涙しながら歩行者の安全を訴えた。台湾でユーザーを従事する日本人「Iku老師」(iku先生)も参加し「次の犠牲者が出ないように」と呼びかけた。
さらに次期総統選に出馬する頼清徳副総統(与党民進党)、侯友宜新北市長(野党国民党)、柯文哲前台北市長(野党民衆党)ら候補者全員も参加し、それぞれの交通政策や事故死ゼロに向けて努力する姿勢を示した。
なお、デモに出席した台湾交通部の王国材部長は、交通事故で多くの死傷者が出ている現状を謝罪。来年末までに全国600カ所の事故多発交差点の改善工事を完了させると約束。2030年までの歩行者事故半減、2040年までの歩行者事故死ゼロを達成すると宣言した。



ピピアン・スーさん台北市観光大使に就任 「台北に遊びに来て」



ピピアン・スーが観光大使に就任
台湾出身のタレント、ピピアン・スーさんがこのほど、台湾台北市の日本向けの観光大使に就任した。台北市観光伝播局(陳淑慧局長)が8月7日に東京都内で開いた記者発表会にピピアンさんが登壇し、台北市の魅力伝えた。

同市は、ピピアンさんを観光大使に起用する事で日本からの観光客増を目指す考え。新型コロナウイルスの感染状況が緩和し、ついに海外旅行が再開される事で「久しぶり、台北!」をキャッチフレーズに、観光キャンペーンを本格展開する。

陳淑慧局長は発表会の挨拶で「新型コ



「久しぶり、台北!観光キャンペーン」記者発表会が開催ナ流行前、台湾を訪れる日本人旅行者数は海外観光客の中で2番目に多く、年間200万人を超えていた」とし「この3年間は観光に大きな影響があったが、台北は今、外国人観光客を歓迎する準備ができています」と意気込みを伝えた。

その後登壇したピピアンさんは、日本メディアから嵐のようなフラッシュを浴びながら「こんにちは、久しぶりです」と笑顔で挨拶。今回の台北プロモーションビデオを観ながら台北の美食、歴史、文化、そして観光スポットを紹介した。

さらに、台北の最新観光スポット、台



台北市のイメージアップ及び観光振興促進を狙う北ミュージックセンターを紹介した際に「ちゃんと宣伝したので、ライブをやる時の値段は20%オフで」と値切りの冗談を話すと、台本を無視したアドリブでの演出で会場を笑わせた。

「久しぶり、台北!」は、台北市のイメージアップ及び観光振興促進の観光キャンペーンとして、2023年から24年にかけて多彩なキャンペーン・プログラムを予定している。観光伝播局は「台北市は公共交通機関、宿泊施設が充実している都市で、誰でも台北で好きな場所を見つけれられる」とPRしている。

台湾気象産業フォーラムに 日本気象協会も参加



記念写真(写真: Taiwan Today)
台湾交通部中央気象局、社団法人台湾気候サービス連盟、財団法人中央経済研究院、日本気象協会が共同主催する「第4回台湾気象産業フォーラム」が8月23日、台北市内で開かれた。

交通部の祁文中常務次長は「気候変動は現在各国政府が向き合っており、取り組むべき極めて重要な課題だ」とした上で「台湾では今年5月に立法院が『交通部組織法』を改正した」と指摘。具体的な内容については「部の全体的な効率を強化するばかりでなく、もう一つのポイントは、気候変動に対する各界の理解を深めるため、より適切で充実した気象デー

タを提供すること」と説明した。

台湾環境部の葉俊宏常務次長は「各省庁各分野を横断する協力体制を築いてこそ気候ガバナンスを強化できる」とし「先日、環境部気候変動課が設置されたことは政府の気候変動問題への重視を明確に示しており、それぞれの政策を強化することで2050年のカーボンニュートラルを実現する」と語った。

中央気象局の程家平代理局長は「同局も9月15日には『中央気象署』に正式に改められるが、これからも各界が必要とする気象に関するリソースを積極的に提供すると同時に国の気象産業の発展も後押ししていく」と強調した。各応用分野が必要とする気象サービスや気候サービスを充実させ、効果的なリスクの低減、災害損失の抑制、さらには新たな利益の創出を目指すということ。

フォーラムでは、関連の産官学及び研究者らが防災、健康、科学技術の面から気候変動に対応する実際の行動事例を共有し、日台間の交流により、気候サービス市場におけるビジネス開発の考え方を刺激するのを狙いとした。

「TAIWAN PLUS 2023 台日一緒に」 上野で9月開催



台湾文化発信イベント「TAIWAN PLUS 2023 台日一緒に」が9月16日から2日間、東京上野恩賜公園で開催される。主催する台湾の非政府組織(NGO)中華文化総会が8月8日、東京の誠品生活日本橋で記者会見を開き発表した。台北駐日経済文化代表処の謝長廷代表をはじめ、台湾タレントの薛岳丹さん、自民党青年局の佐藤啓代理局長、台湾の趙天麟立法委員などが出席した。

TAIWAN PLUS は2018年から開催され今回で4回目。「台日一緒に」をテーマに100以上の台湾ブランドが集結し、グルメや音楽、デザインなどで台湾最先端のライフスタイルを再現する。

謝代表は挨拶で「昨年のTAIWAN PLUSの入場人数は延べ20万人以上を超えた」とした上で「台湾と日本は正式の国交関係がなくても、長い歴史の中で絆と友情を築いた。新型コロナが流行している時、台湾は日本にマスク、日本は台湾にワクチンをそれぞれ無償提供し、まるで兄弟のような関係だ」と述べた。

今回のキービジュアルでありオレンジ系のネクタイをつける佐藤局長は「台湾と日本はいつも助け合うパートナーだ」とし「このイベントを通じてより多くの日本人が台湾のことを好きになり、日台間の観光、留学が増えるようにしたい」と話した。



佐藤啓代理局長



李厚慶秘書長

文化総会の李厚慶秘書長は台日関係について「民主主義や自由を共に享受し、文化交流が頻繁な友人だ」とし「新型コロナウイルスの流行下では関係がさらに緊密になった」と主張。日本の人々が台湾のことを好きでいてくれることに感謝を示した。

なお文化総会は「TAIWAN PLUS」のほか、9月23日に開催される「馬祖国際芸術島」イベントも紹介し、日本人の馬祖訪問を呼びかけた。

日総、熊本で 日台経済交流促進会開催



記念写真
日本台湾商會聯合總會(錢妙玲總會長)は8月28日、熊本県商工会連合会、熊本県商工会議所連合会と共同で日台経済交流促進会を開いた。蒲島郁夫県知事と台北駐日経済文化代表処福岡分事務所の陳銘俊処長などが出席した。

半導体受託製造世界最大手の台湾積体電路製造(TSMC)が2021年に熊本県への新工場建設を発表して以降、県内には関連企業が相次いで進出している。

陳銘俊処長は「日本統治時代から台湾

と九州の交流が盛んになり、日本と台湾は互いに支え合ってきた」と指摘。「TSMCの熊本進出により、台湾と日本が半導体産業における協力がますます進んでいくだろう」と期待を寄せた。

蒲島郁夫県知事は熊本のゆるキャラ「くまモン」と一緒に登壇。挨拶で「TSMCの進出以来、約600人の台湾人が熊本に移住した」とした上で「県商工会連合会と県商工会議所連合会が3月に台湾の商業団体、台北市進出口商業同業公会と経済交流促進に関する覚書をそれぞれ締結し、9月には熊本と台北を結ぶ直行便が就航し、週7往復運航される。台湾と熊本の交流は飛躍的に向上するだろう」と語った。

錢妙玲総会長は「熊本とのつながりは熊本電気鉄道の顧問を務めたことから始まり、既に10年以上となった」とし「今回のイベントは日総だけでなく、亜総(アジア台湾商會聯合總會)、世総(世界台湾商會聯合總會)など、全世界の台商と交流できるだろう。今後熊本県から協力が求められた際には日総として力を尽くす」と意気込んだ。

中国、害虫検出で台湾産マンゴーの 輸入を停止 恣意的と台湾反発



中国、台湾産マンゴーの輸入を停止(写真: 中央社)
中国の台湾政策を担当する国務院台湾事務弁公室は8月21日、「台湾産マンゴーから害虫のミカンコナカイガラムシが検出された」として「台湾からのマンゴーの輸入を同日から停止した」と発表した。台湾農業部は中国の声明について「恣意的措置だ」と批判した。

中国はここ数年、バイナップルや魚のハタなど、台湾産の農水産物の輸入規制を発動。台湾側は「中国の政治的動機で、台湾の民主主義を干渉する」と非難している。

台湾農業部の陳駿季政務次長は台湾メディアの取材に応じ「中国からは今年6月15日と8月3日の二度ミカンコナカイガラムシに関する通報があり、それ



台湾「中国の決定は恣意的」と批判(写真: 中央社)
ぞれ7月4日と8月17日に対処措置について回答した」と説明。さらに「2018年以降、中国に輸出したマンゴーは5689ロットを上回るものの、昨年までは1件も害虫が検出されていなかった」とし「中国は非常に強い手段で輸入を禁止するのは国際規範に合致していない」と述べた。

台湾では毎年5〜7月にマンゴーの収穫最盛期を迎える。農業部の資料によると、今年の生産量は17万4000トンで、のうち輸出は約4000トンと全体の2.3%にとどまっており、対中輸出量は約1000トンだった。

台湾の頼清徳副総統は8月に米国を訪れ、その後南米パラグアイを訪問した際に中国からの強い反発があり、同19日から台湾周辺で軍事演習を開始している。

台湾農業委 農業部に昇格



式典の記念写真(写真: 中央社)
台湾の農林水産政策を担う行政院農業委員会は8月1日、台湾農業部に昇格した。これまで同委員会主任委員を務めてきた陳吉仲氏が初代部長に就任した。就任式では頼清徳副総統を含む大勢の来賓が見守る中、陳建仁行政院長より任命書と印信が陳吉仲氏に手渡された。

今回の昇格は今年5月に台湾立法院に可決された「農業部組織法」によるもの。頼副総統は「農民、漁民らの後ろ盾となり、台湾の農業の持続可能な発展を導いてほしい」と農業部に期待を寄せた。また陳部長については「これから部をけん引し、関連



農委会が農業部に昇格(写真: 中央社)
の団体と共に協力し、生産者や農業のために尽くすように頑張ってもらいたい」と話した。

陳建仁行政院長は「蔡英文総統が就任以来『三保一金』と呼ばれる生産者の四大福利システムの構築、口蹄疫『ワクチン非接種浄地帯』認定、アフリカ豚熱(ASF)の侵入防止、そしてこれから豚熱(CSF)のワクチン接種が台湾全域で停止されることなどは、農業委員会と生産者たちの努力が実を結んだ結果だ」と評価。「陳部長のリーダーシップの下、温かい心をもって農林水産分野のあらゆる生産者をケアし、産



頼清徳副総統が挨拶(写真: 中央社)
業の強靱性をより強化してほしい」と述べた。

陳部長は報道陣に応じ「農業部の発足後、農林水産業の生産者へのケアを強化し、コールドチェーンのようなインフラを全面的に始動し、あらゆる産業の競争力を全面的に向上させたい」と意気込みを示した。「持続可能な農業や台湾の農業を強大にする目標に向かって、これから全国の農林水産業の生産者たちが農業部と一緒に取り組む、頑張ってもらいたい」と発言を締めくくった。

第2回 WUBS で 台湾国立政治大が初優勝



国立政治大、第2回 WUBS に優勝(写真:国立政治大学)

ワールド・ユニバーシティ・バスケットボール・シリーズ(WUBS)は8月10日~同13日までの4日間、国立代々木競技場第二体育館を舞台に開催され、前回大会で3位の台湾国立政治大が初優勝した。今年の大会は出場チーム数が8チームに倍増していた。

政治大の初戦は前大会で準優勝を果たした東海大。第1クォーターは攻撃を仕掛け、23-11で11点のリードを作った後、東海大からの攻勢を抑え、第2、3クォーターはそれぞれ3点、4点のリードを作り上げた。第4クォーターは東海大に攻め込まれ、試合終了残り2分16秒の時点で7点差まで詰め寄られたが、81-73でベスト4

に進出。準決勝では米NCAA 1級で優勝候補とみられるラドフォード大と対決。前半では激しい対戦を見せ、第1クォーターは16-19、第2クォーターは19-20で4点差のビハインドを背負った。第3クォーターが始まると、ラドフォード大からの攻撃を抑えられず、4-11で2桁の差を許したが、その後ディフェンスを強めて18-5の攻勢を見せて1点のリードで第4クォーターに突入した。政治大は攻勢を保ちながら、キャプテンのエムバイエを投入してラドフォード大の反撃を抑えて79-75で決勝進出を果たした。

決勝戦は白鷗大との対決。序盤から主導



台北松山空港で記念写真(国立政治大学)権を奪い、ディフェンスだけでなく、エムバイエをはじめとする攻撃陣は前半だけで30-13、24-20でリードを21点まで伸ばした。しかし後半から白鷗大はエムバイエらのディフェンスから抜け出し、政治大のオフenseを抑えて怒涛の反撃を開始。第3クォーター終了時点で67-59と点差が1桁に戻った。第4クォーター残り時間8分の時点でエムバイエが5つ目のファウルを犯して退場になったが、逆転を許さないまま90-84で終盤を迎え、初優勝を手に入れた。

国立政治大が帰国した際に多くの関係者やファンが空港で出迎え、選手たちを歓迎した。同大の李蔡彦学長は取材に対し「現場に赴くことができなくて残念だが、テレビでチームのみんなが見せてくれた素晴らしいスキルやチームワークに感動した」と喜びを語った。

日本でミュージカル「KANO」 台湾俳優が期間限定で出演



「台湾スペシャルステージ」が4日に初演(写真:中央社)



映画「KANO」の魏徳聖監督も来日(左から2人目)(写真:中央社)

日本統治下にあった台湾から夏の甲子園大会に出場し準優勝した嘉義農林学校野球部の実話を基にした日本のミュージカル「KANO ~1931 甲子園まで2000キロ~」に期間限定で台湾人キャストが出演している。ヒロインを務めたキミは観客の熱気に「とても感動した」と語った。

愛媛県の「坊っちゃん劇場」で上演中の同ミュージカル。日本と台湾の野球交流100周年を記念した作品で、台湾人キャストが出演する「台湾スペシャルステージ」が8月4日に初演を迎えた。

キミは、嘉義農林の監督だった近藤兵太郎の娘「花子」役。上演中、ほぼ満席となった客席から音楽に合わせて手拍子が響いたことに感動し「心が揺さぶられ

た」と興奮した様子で振り返った。

キミ以外に、漢人の野球部員「林明訓」を鍾政均が、台湾原住民部員の母親「サンミ」を江明娟が演じている。

台湾で映画「KANO」(2014年)のプロデューサーを務めた映画監督、魏徳聖氏も訪日し、同作を鑑賞した。3人の日本語での演技を絶賛し、特にストーリーに合わせて歌うソロに感動して何度も涙を流しそうになったと話した。

同作品は今年4月1日に初公演を迎え、1年間に愛媛県で公演される見通し。また、ミュージカルを高画質の「8K映画」にした作品が今年末、台湾で上映されるとい

う。スペシャルステージは8月15日まで開催された。

台湾文化協会成立100周年 記念のドキュメンタリー初上映



陳建仁行政院長(写真:行政院)



黄煌雄会長(写真:行政院)

台湾文化の発揚を目的とする民間団体「台湾文化協会」の設立100周年を記念して制作されたドキュメンタリー作品「台湾人 前進」が8月5日、台湾台北市で初めて上映された。同協会は、日本統治時代の1921(大正10)年に社会運動家らによって立ち上げられ、社会や文化の発展に大きな影響を与えたとされており、観賞に訪れた陳建仁行政院長は「得難い自由と民主主義を大切にしよう」と呼びかけた。

作品は台北政経学院基金会の黄煌雄会長がプロデューサーとなって制作。歴史資料やアニメーションなどを通じ、当時の台湾人が、暗闇の中、危険を顧みず前進する精神を表現した。

黄氏は「21~31年は台湾近代民族運動の黄金期だった」とした上で「同協会は最も重要な母体と活動の場としての役割を担った」と強調。また「エリートによる熱狂的な愛郷運動の基礎になり、この世代の先駆者たちは「台湾人の台湾」のために声を上げ、希望を訴えたとして、朽ちることのない歴史の遺産だ」と語った。

陳氏は「民主化の100年の道のりには数々の困難があり、その期間には集会や言論の自由がなかった」と指摘。「先人たちの努力により、台湾は自由な国になった」とした上で「自由な民主主義と法の支配があれば、経済は引き続き進歩するだろう。台湾をアジアにおける民主主義の『灯台』にしよう」と訴えた。

「第7回東亜城市足球大会2023 in 台湾」 4年ぶり開催



ヘディング(写真:第7回東亜城市足球大会実行委員会)



試合の写真(写真:第7回東亜城市足球大会実行委員会)



閉幕式の記念写真(写真:東亜城市足球大会実行委員会)

東亜城市足球連盟、国立台湾体育大学、台湾運動休閒健康発展協会が共同主催する「第7回東亜城市足球大会2023 in 台湾」が8月19日~同22日まで、台中市北屯太原スタジアムで開かれた。台湾台中市選抜、台湾体育大、沖繩選抜、琉球選抜、ベトナムFC、台湾桃園国際選抜など6チームが参加し、サッカーを通じて国際交流を果たした。

今大会は新型コロナウイルスの影響で4年ぶりの開催。東亜城市足球連盟の趙榮瑞秘書長は閉幕式の挨拶で「将来はチームの増加と各年齢層の試合を増やし、台中市のサッカー発展をさらなる躍進を果たしていく」と意気込んだ。

沖繩選抜は初戦、ベトナム企業所属のベトナム人で構成されるベトナムチームと対戦。試合開始直後はベトナムFCに主導権を奪われたものの、冷静にゴールを決めた沖繩選抜。後半は一気に4点を奪い6-2で快勝。第2戦は台湾大学サッカーの名門、台湾体育大との試合を臨み、蒸し暑い天候で試合は膠着したが0-1で惜敗。グループ2位で3位決定戦に入った。最終日の桃園国際選では、勢いが出た沖繩がプレッシャーをかけてペースを握り、6-2で3位を決めた。

一方、琉球選抜は、初戦で若い世代の選手を中心に構成される台中市選抜と対決。慣れない人工芝で苦戦を強いられたもの

の、後半は打開策を見つけ、わずか3分に先制点を決め、4-2で勝利を取った。桃園国際との第2戦は体格差による劣勢は否めず、攻勢を許して0-2のまま後半戦に入った。その後、オフenseを強めた琉球は、決定機を逃さず3-2の逆転勝利を挙げて決勝進出した。

決勝戦では一気に台湾体育大を抑え込んで2-0で前半を折り返したが、台湾体育大は後半にプレッシャーをかけ、琉球は耐え切れず2-3と逆転を許した。

閉会式は同市内のホテルで開催され、各国の選手や本大会役員らが積極的に交流、親睦を深め、非常に盛り上がった大会となった。

日本人監督が 2・28事件の映画制作を計画



五十嵐監督(写真:中央社)

台湾国民党政権が市民を弾圧した1947年の「2・28事件」で、首謀者と見なされて処刑された弁護士の湯徳章を主人公にした映画の制作に日本人映画監督が動き出している。制作の意図は、作品を通じて日本人に2・28事件について知ってもらいたいとの願いから。

湯は日本統治時代の1907年、日本出身の父親と台湾台南出身の母親の間に生ま



湯徳章記念公園を訪れた五十嵐監督(写真:中央社)

れ、のちに東京に渡り学問を深め、高等文官試験に合格。台湾に戻って弁護士になったが、2・28事件発生時、権威政権から自白を強要されても屈服せず、学生と台湾人エリートを守ったのち「反乱の首謀者」と見なされて銃殺。

台南市は1998年、湯の名誉回復のため、処刑された公演を「湯徳章記念公園」と改称し、湯の胸像を設置した。2016年

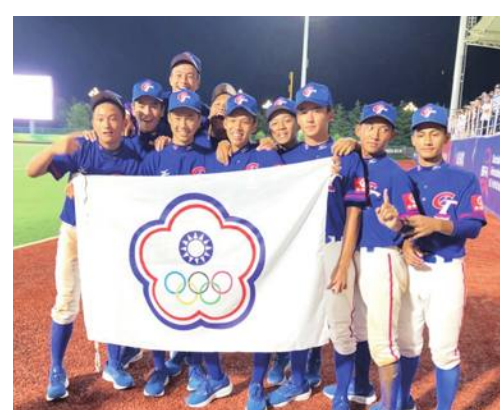
にノンフィクション作家の門田隆将さんにより、湯の物語が日本と台湾で同時出版された。

製作を計画しているのは、映画監督の五十嵐さん。五十嵐さんは8月23日、東京都内で台湾メディアの取材に応じ、計画について明かした。湯の物語を映画化しようと考えた理由について「東日本大震災発生時に台湾から多額の義援金が寄せられ、台湾の土地と人について知りたかったのがきっかけだ」と話した。

五十嵐さんは映画制作のため、台湾を2度訪れ、湯徳章記念公園と湯の旧居、複数の歴史博物館などを訪問し「セデック・パレ」の魏徳聖監督や作家の陳明仁さんらとも面会した。

なお、五十嵐さんは「日本では湯について殆ど知られていないため、日本での資金調達は難しい」と明かし「撮影は来年開始する計画で、台湾側に資金集めに協力してもらえば」と語った。

野球 U15 アジアで台湾優勝 世界大会の権利獲得



7度目の優勝を果たした台湾代表(写真:中央社)

アジア野球連盟(BFA)主催の「第11回U15アジア選手権」が8月20日~26日の期間、中国山東省の威海市で開催され、台湾チームが3大会ぶりに優勝した。この優勝で来年開催される世界選手権(U15ワールドカップ)の出場権利を獲得した。

出場チームは台湾をはじめ、韓国、フィリピン、スリランカ、日本、中国、香港、パキスタンの8チームだった。台湾は同24日のスーパーラウンド初

戦で日本に5-6で黒星のスタートとなったが、翌25日に6-1で中国を破った。これでオープンングラウンドから持ち越している通算成績を2勝1敗とし、スーパーラウンド2位通過で決勝進出を果たした。

決勝戦は、スーパーラウンド1位で3連覇を目指している日本。試合は前半、両チームが投手戦を繰り広げ、4回まで1-1と硬直状態が続く。試合が動いたのは5回表。台湾の顔角助が内野ゴロで二塁に出ると、宋米家が適時打を打ち勝ち越し。続けて幸世賢も安打を打ち、日本のエラーでさらに1点を追加した。その後も日本にエラーや暴投が続き、台湾はこの一回一気に4点を奪った。日本は5回裏に2点を返すものの、7回表に台湾が1点を追加。その裏日本は1点を奪い返したが追いつけなかった。台湾は6-4で7度目の優勝を飾った。

選手権は2000年の初開催より2~3年に一度開かれており、今年で11回目。前回台湾が優勝したのは2015年の大会。17年と19年にも決勝まで進んだが、2度とも日本に敗戦していた。

Digest News / August 2023

— 1ヶ月の出来事をダイジェストで振り返ります

Aug.4 屏東県産高級魚ハタ、くら寿司に登場

日本の回転ずしチェーン「くら寿司」の全店舗でこの日から同30日まで、台湾屏東県(周春米県長)の県産ハタが提供された。



屏東県産高級魚ハタ、くら寿司に登場(写真:屏東県政府)

Aug.6 台湾が涙の準優勝 野球 U12大会

野球の第7回 WBSC U12ワールドカップはこの日、台湾台南市で決勝戦が行われ、台湾は強豪アメリカに4対10で敗れ、惜しくも優勝を逃した。



台湾、野球 U12W 杯に準優勝(写真:中央社)

Aug.7 金10個 獲得メダル総数46個 成都ユニバ

中国成都で行われた世界ユニバーシティ夏季大会で、台湾勢はこの日、出場する試合が全て終了した。



バドミントン混合ダブルス決勝に臨んだ葉宏蔚、李佳馨ペア(写真:大学体育総会)

Aug.9 頼清徳副総統がサッカー小学生を応援

頼清徳副総統は8月9日、台北市内で開かれた「サッカー台湾小学校ワールドトーナメント」の記者会見に出席し、台湾のサッカー発展推進を呼びかけ、台湾の選手たちを応援した。



頼清徳副総統、台湾サッカーの発展推進を呼びかけ(写真:総統府)

Aug.11 世界客家博覧会開幕 特別ラッピング車両運行

世界客家博覧会の開幕を前にしたこの日、会場沿線走る桃園メトロ空港線特別ラッピング車両が運行された。



桃園メトロ、世界客家博覧会の特別ラッピング車両を運行(写真:中央社)

Aug.12 潮州鉄道園区、日本時代の木造客車展示

台湾屏東県の文化施設潮州鉄道園区は、この日、100年以上前に製造された木造客車の展示を始めた。



潮州鉄道園区、日本時代の木造客車展示(写真: Taiwan Today)

Aug.14 アフリカ出身のサッカー選手が台湾国籍取得

アフリカ・コートジボワール出身で台南市のサッカーチーム「台南市台湾スチールグループアソシエーション(TSGFC)」に所属する安以恩さんがこの日、高度専門人材として台湾国籍を取得した。



コートジボワール出身の安以恩さん、台湾国籍を取得(写真:中央社)

Aug.15 台湾の服装の変遷紹介する展示会が台北で開催

台北市立文献館による「換衫 Uann Sann」特別展がこのほど、市内で開催されている。



台湾の服装の変遷紹介する展示会が開催(写真: Taiwan Today)

Aug.18 台南市で「台湾行啓」100周年の記念式典

のちに昭和天皇となる皇太子裕仁親王は1923年4月、摂政の身分で台湾を訪問し、12日間にわたって台湾各地を巡った。



「台湾行啓」100周年の記念式典(写真: Taiwan Today)

Aug.19 日本の公共芸術『シッパス・キャット』が屏東県で展示

日本の現代美術作家、ヤノベケンジさんの作品「シッパス・キャット」がこの日より、台湾屏東県東港郷の港口港にある「看海美術館」に展示された。



日本の公共芸術『シッパス・キャット』が屏東県で展示(写真: Taiwan Today)

Aug.21 冷凍焼き芋、日本へ「行ってきます！」

台湾台中市沙鹿区果菜運銷合作社はこの日、台中市や雲林県の契約農家が生産したサツマイモを加工した「冷凍焼き芋」を日本へ向け出荷した。



台湾産冷凍焼き芋が日本に出荷(写真: Taiwan Today)

Aug.22 旧暦七夕、台南市では16歳の成人式

台湾台南市中西区の開隆宮でこの日、16歳の成人式「做十六歲」が行われた。



台南市では16歳の成人式(写真: Taiwan Today)

Aug.23 高級魚のハタを混ぜた豆腐開発 高齢者が味を絶賛

台湾の離島「澎湖県」にある農業部水産試験所澎湖漁業生物研究センターはこのほど、高齢者向けに高級魚のハタを豆腐に混ぜた商品を開発した。



高級魚のハタ混ぜた豆腐開発(写真:中央社)

Aug.24 優勝の新明国中ナインが凱旋

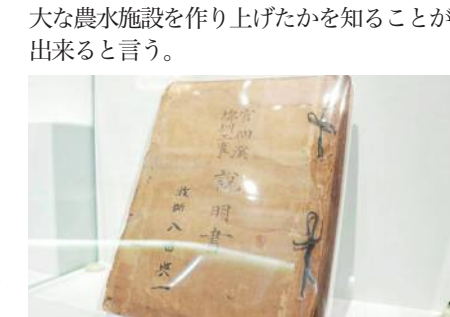
米国で開催されたリトルリーグ野球(LLB)ワールドシリーズ(世界選手権)で、優勝した台湾桃園市の市立新明国中学校のナインがこの日夕方に凱旋した。



凱旋した新明国中学校のナイン(写真: Taiwan Today)

Aug.25 環境特展で八田氏のダム建設設計画書が初公開

国立台湾歴史博物館の「流域共構：雲嘉南百年水利興廃特展」がこのほど始まった。



八田興一氏の計画書が初公開(写真: Taiwan Today)

1年間の台湾インターンシップ生受入企業募集中

グローバル化に対応した台湾人の人材を活用しませんか? ※社宅など不動産の協力が必要な場合、バックアップさせていただきます。

近年日本ではインバウンド事業が盛んとなり、グローバル化により外国人人材の需要が求められています。台湾には、将来性ある優秀な台湾学生が多く、その人材を活用する事で、グローバル化する日本社会に対応する事ができます。

臺灣新聞社は、台湾のインターンシップ生を必要とする企業様を募集し、グローバル人材の活用をサポートします。契約期限は1年間ですが、その後正社員雇用も可能です。詳細は下記までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先 臺灣新聞 TAIWAN NEWS 東京発行 03-5917-0045 03-5917-0047 info@taiwannews.jp 〒171-0021東京都豊島区西池袋4-19-4

台湾新聞



《台湾新聞》為民營媒體,非政府發行刊物,以中立立場報導所有台灣和日本最新資訊。所有新聞報導和新聞照片,非本公司同意,嚴禁轉載刊登。《台灣新聞》同時提供報導資料銷售服務,如個人、團體有需要,敬請多多利用並洽《台灣新聞》。此外,個人、僑社團體或企業有採訪需求、活動企劃、平面設計和廣告刊登等媒體服務,歡迎直接洽詢《台灣新聞》。

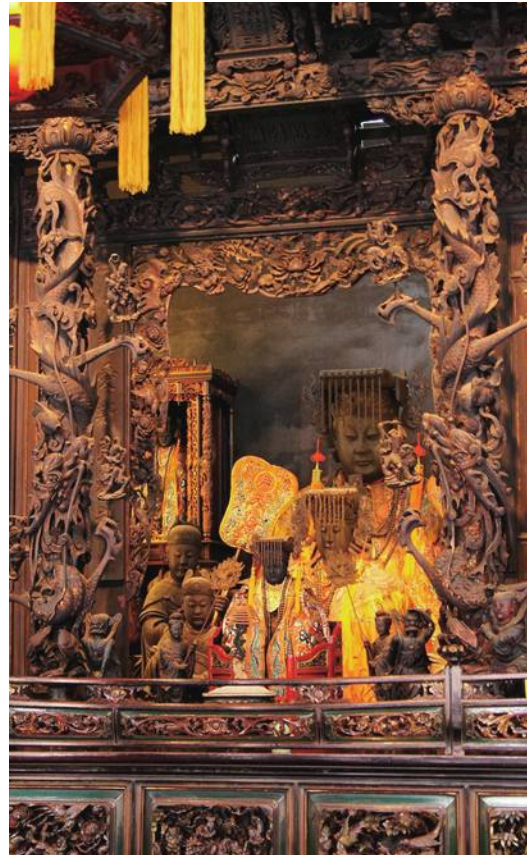
「台湾新聞」は民間企業運営による媒体です。政府の刊行物ではありません。あくまでも中立の立場より、台湾と日本の各種の最新情報を報道しています。本紙に掲載しているすべての報道内容及び写真は、当社の承諾を得ない転載などは禁止します。一方、台湾新聞は報道資料の販売などのサービスを提供しています。必要な個人及び企業、団体の皆様は当社へお問合せください。また、イベント企画、デザイン、レイアウト、広告掲載等の依頼がございましたら、ぜひ当社にお問合せください。「台湾新聞」社は以下の有料サービスも提供しております。ご活用ください。

- 《台湾新聞》提供以下付費サービス: ●企業広告配合、僑社活動探訪 ●僑社團體網路部落格設計(包含台灣新聞採訪報導使用權費用) ●採訪照片提供 ●企業網站設計服務 ●企業廣告、華僑会社イベント取材 ●華僑会社団体インターネットブログ設計(台湾新聞取材報道、使用費用権を含む) ●取材写真提供 ●企業ホームページ設計サービス

欲合作企業、僑團請逕洽《台灣新聞》 03-5917-0045或info@taiwannews.jp

記者隨想

「えっ?宿泊先のドアを叩かないと入らない?」



「ドンドン!」とホテルの部屋のドアを叩いた私。少し待ってから「お邪魔します」と言いながらドアを開けた。「いまお前何したの、バカみたい」と私の行動に笑う日本の友人。「台湾人だったらみんなそうするよ」と答えると「はっ?なんでそうやらなきゃいけないの」とびっくりした様子。「中にある『好兄弟』に『私たちが入りますよ』と伝えるだけ」との返答に「誰もいないよ。そもそも『好兄弟』って誰?」。私は「『好兄弟』は、ミタマだよ」と言った。

信仰が篤く台湾(写真: Unsplash) まざまな宗教イベントがあり、中でも世界3大宗教イベント「大甲鎮瀾宮媽祖巡礼活動」は最も有名である。大甲鎮瀾宮とは台中市大甲区にあるお寺で、1730年に造られたと言われている。媽祖は昔、航海の安全を守る神様として台湾人に祀られてきたが、今では漁業にとどまらず、商売、受験、健康など生活に関わる様々なことを見守っている。その媽祖巡礼活動とは、媽祖の誕生日(旧暦3月23日)前後9日間わたって台中から南下し、彰化、雲林、嘉義を歩いて嘉義の新港郷媽祖廟の奉天宮まで行き、再び大甲鎮瀾宮まで徒歩で戻る。往復の行程距離は計320キロに及ぶ。毎年台湾各地から巡礼に参加する信徒が多数おり、今年は延べ100万人を超えた。長い歴史を持つイベントとして、2008年に台湾政府に国の重要無形文化財に指定されている。

台湾人の守護神と言える媽祖(写真: pixabay) ニでは普渡でお供え物として使える商品が並べられており、台湾でしか見られない風物詩でもある。そして鬼月の1カ月は、悪い霊はいろいろな悪いことをするとされ、その悪運を避けるためにはいけない「タブー」とされることが多い。例えば、結婚式を挙げる、夜に口笛を吹くこと、夜に洗濯物を干すこと、家を引っ越すこと、転職することなど、とにかく新しいことを始めるのを禁じられている。おわり

信仰が篤く台湾 台湾は華人世界においても、最も宗教活動が繁栄しているところと言っても過言ではない。伝統的宗教には、主に仏教、道教、そして民間信仰が挙げられるが、現在では少数の純粋な仏教寺院以外、殆どが道教と混在している。道教は中国本土から伝わってきた宗教で、高尚な精神を持つ人物を尊敬することから、そのような人物を神格化し廟(びょう)に祀って崇拝するのは普通なことだ。関聖帝君(関羽)や媽祖(林默娘)はその典型的な例と言える。台湾人が崇拝する神々は多く、その風習と文化は台湾の日常生活に大きく影響を与える。この文章のエピソードは台湾伝統的信仰の絶好例だ。

今は台湾しか見えない伝統「鬼月」 台湾では毎年の旧暦7月のことを「鬼月」と呼び(今年は8月16日から9月14日)、先祖や無縁仏の魂がこの世に戻ってくると言われている。台湾の色々なお寺と廟が、旧暦7月1日に「鬼門開」という儀式を行い、あの世の扉が開く。台湾の人々は、この1カ月の平穏無事を祈るため、旧暦の7月15日「中元節」にお供え物を用意し、先祖や無縁仏の霊を祭る。これが台湾人の言う「普渡」だ。この時期、台湾のスーパー、コンビニ

台湾人は現代社会でも、宗教の風習や伝統文化に従って日常生活を送り続けてきた。もちろんこれらは「俗信」とも言えるが、これも台湾文化の一部で、台湾人の話とえば「すでに台湾人のDNAに溶け込んだ」でもあるだろう。将来の世代も、この伝統を引き継いでいくと、私は信じている。 ドアを叩かないと入らない?(写真: Unsplash)

世界3大宗教イベント 「大甲鎮瀾宮媽祖巡礼活動」 そんな信仰が篤い(あつ)台湾では、さ

てくてく台湾旅 92

松田義人(deco) / 編集者・ライター

台湾人のお姉さま方と巡る 夏休み1泊2日山梨バスツアー



お楽しみモリモリの山梨ツアー

先日、かつて一緒に中文を習っていた同級生たちと再会しました。かれこれ10年ぶりくらいでしたが、みんな熱心な台湾ファンなので、時差を感じさせないほどすぐに打ち解け、この10年の「台湾の話」などをして盛り上がりました。

と同様「これは是非とも参加したい!」と鼻息を荒くしていました。というわけで数週間前からワクワクしながらこのツアーの日を迎えたのですが、想像通りあるいは期待以上に内容の濃い会でした。

台湾にいる以上に 台湾的な時間となり感激!

ここで、数年前に僕が参加させていただいた「埼玉台湾総会」の料理教室(これがすごく楽しかった)の話と同級生にしたところ「そんな素敵な会があったなんて。なんで誘ってくれないんだ」と詰め寄られました。やはり熱心な台湾ファン、こういった濃い催し、台湾人の方との懇親を深めるイベントは参加したいようでした。 そんな経緯があり、かつて「埼玉台湾総会」の会長だった紀秋美さんに「最近料理教室をやっていますか?」とお問い合わせしたところ、こんな返答がありました。「実は8月に、台湾華僑女性の商工会『世界華人工商婦女企管協會』の皆さんと1泊2日山梨に行くツアーがあります。そこでは、台湾シェラトンのトップシェフを招いての台湾料理講座もあります。松田さんも一緒にいかがですか?」

新宿西口からバスに乗ると、すでに車内は9割が中文で会話されています。中にはすでに野菜やお菓子を配る方もいたりして、この雰囲気はまさに台湾! 前後左右の台湾人のお姉さま方は皆ささくに接してくださり、すぐに打ち解けることができました。

これはすごい! そんなアツいイベントがあるなら絶対参加したい! そう思い同級生や友達台湾ファンなどに声をかけつつ、最悪僕だけでも参加する意思をお伝えしました。

山梨に着いてからもお楽しみ盛りだくさんでした。台湾シェラトンのトップシェフ・李佳其さんと廖泰竣さんによる台湾料理の講座、台北駐日経済文化代表処(大使館にあたる)の副代表はじめ台湾の重鎮を招いての大宴会、突如始まったカラオケ大会、桔梗屋見学、ハーブ園散策、ひまわり畑散策、メロン狩り……とにかく、お楽しみ盛りだくさんのツアーでした。

しかし「1泊2日」というのがハードルが高かったのか同級生たちは「今回は……」という返答。唯一「参加する!」と言ってくれたのが、この連載でも何回も登場している加賀ま波さんでした。ま波さんは最近、日本国内の台湾関連イベントに頻繁にお店を出店しており、聞けば知り合いになった台湾人の方も多く参加されるとのこと。僕

メロン狩りでは、僕がうっかり自分の指を切って血だらけになりましたが、すぐに台湾人のお姉さま方が、絆創膏や消毒シートや塗り薬などをくれました。恐縮しましたが、その塗り薬は「変な話……痔にもきく」とも教えてくれました。

『台湾新聞』の社長も参加されたツアーで、おそらくは号の別記事でも紹介されていると思いますが、僕にとっては台湾にいるとき以上に台湾的な時間となりました。お誘いくださった紀秋美さんをはじめ、会の皆さんの手厚いご配慮、一緒に参加してくれたま波さん、同室となったハッピーレモンの林太一さん、ご参加者の皆さんにも大感謝の2日間でした。日本にいなからにして台湾を感じられるツアー、今後是非実施してほしいです!

Advertisement for Kurosawa Group (黒澤合同事務所グループ) featuring services like real estate, tax, and legal advice. Includes contact information for Tokyo and QR code.

關於房地產源泉徴収

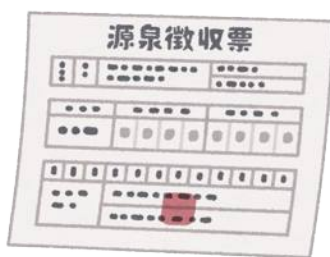
日本法律停・看・聽

在近期日元貶值的背景下，海外投資者更加關注日本房地產。非居住者和外國法人(以下簡稱「非居住者」)在日本擁有房地產並進行租賃的情況，有必要在日本指定稅務代理人以及在日本進行納稅申報。在這種情況下，除非滿足某些特殊條件，否則房地產收入的20.42%將被作為源泉徴収，剩下部分是實際到手的金額。源泉徴収是預繳稅款，通過在日本納稅

申報來進行最終精算。基本上，大額扣稅的情況很多，大多數人都會通過納稅申報來得到預繳稅款的返還。有些人認為納稅申報會導致被多徴収稅，但實際上，納稅申報可以說是收回部分扣繳稅款的一種方法。這次，給大家介紹了房地產收入的源泉徴収。同時弊社也接受稅務代理、稅務諮詢、納稅申報等一系列業務。注意：根據個人情況，納稅申報後可能需要繳納稅金。此外，當非居住者等在日本出售房

地產時，除某些特殊情況外，也可以相同的方式扣繳稅款。

本文作者：黒澤事務所 黒澤



無量壽佛 2023年【癸卯年】

歡迎安奉太歲燈・光明燈

每月農曆初一、十五日犒軍敬拜(上午11:00)

本宮備有接送車輛，有需要者，請在前一天事先聯絡。JR成田空港駅第二航廈出口35號對面

宗教法人 日本大道院純陽宮

〒289-0216千葉県香取郡神崎町植房950-1 TEL:0478-72-1068或1899 FAX:0478-72-1089 董事長 玄駿 執行董事長 玄胡明信

Map and directions to the Pure Yang Temple (純陽宮) in Shikazaki, Chiba. Includes a QR code for more information.



橫濱華僑總會理監事就任宴 許耀庚接任第三十九屆會長



張淑玲處長致詞



許耀庚會長致詞



張淑玲處長贈送芒果給許耀庚會長

【橫濱／採訪報導】橫濱華僑總會於8月2日在華正樓餐廳舉行第三十九屆理監事就任宴，橫濱辦事處處長張淑玲、神奈川日華親善協會會長眾議員田中和德、神奈川縣議會日華親善議員聯盟會長松田良昭等關東地區僑領都出席祝賀，新任會長許耀庚也希望學習歷代會長付出的精神，讓橫濱華僑總會優良傳統繼續傳承並發揚光大。

會長許耀庚表示，橫濱華僑總會是歷史悠久的僑團之一，在這漫長的歲月中，經過橫濱僑界各位先進的打拚和默默的付出，才有今天的輝煌成果，我也才有機會接下第39屆會長的棒子，對我而言是非常崇高的榮譽，是承擔重大責任的開始。許會長也說，我們

都知道橫濱開港歷史悠久，我們華僑也在橫濱落地生根，歷經滄桑直到現在，未來的兩年我會全力以赴，學習歷代會長奉獻付出的精神，傳承橫濱華僑總會的優良傳統，並更加發揚光大，創造新的歷史。

張淑玲處長表示，今天非常高興來參加橫濱華僑總會的就任式，也要感謝橫濱華僑總會會長年以來一貫堅定支持中華民國政府，協助橫濱辦事處推動台日友好，同時也要利用這個機會感謝各團體、僑會對我們推動各項工作的協助，也要感謝大家踴躍支持最近舉辦的各項活動，由衷期盼許會長的團隊可以帶領橫濱華僑總會跟各團體加強友好合作，進一步協助促進台灣跟日本的關係。

眾議員田中和德表示台灣現在在國際社會

中越來越重要，不論是在經濟方面或半導體，我們神奈川日華親善協會有很長的歷史，今後也想給大家一起努力，讓最重要的台灣能與我們日本深化友好關係。神奈川縣議會日華親善議員聯盟會長松田良昭表示，還有兩年橫濱華僑總會就要邁入40屆、80年，希望屆時在許會長的帶領下，橫濱華僑總會能變得更好、更棒的會。

此外，張淑玲處長也特別帶來最近在日本大受歡迎的台灣愛文芒果，並贈送給許耀庚會長，希望會越忙越多成果，就任宴在顧問吳正男的帶領乾杯下正式開始，活動也請到橫濱中華學院的舞獅演出，炒熱現場氣氛，最後也一同高呼中華民國萬歲，為活動畫下完美的句點。

日本世華杯才藝大賽熱鬧上場 精采表演博得滿堂彩



紀秋美會長致詞



前三名得獎者與世華日本分會執行不負責賓合影

【山梨／綜合報導】世界華人工商婦女企管協會日本分會於8月9日晚上在山梨石和溫泉飯店舉辦首屆日本世華杯才藝大賽，吸引關東地區僑團及僑民踴躍報名參加，盡情展現自身才華。駐日副代表周學佑、日本臺灣商會聯合總會會長錢妙玲、臺灣美食巡迴講座李佳其及廖泰俊2位主廚應邀出席，共襄盛舉。

世華日本分會會長紀秋美致詞表示，每次參加僑會活動，深覺很多僑民才華洋溢，引發我舉辦世華杯才藝大賽的想法，讓僑民有一個發光發亮的舞台，今天終於實現，很感謝大家踴躍報名，大家的表演成就今天的活動。

駐日副代表周學佑致詞感謝紀會長主辦才藝杯大賽活動，讓平時忙於工作及僑務活動的僑民有一展才能的舞台，預祝各位參賽者都能展現最好的一面。

在日本臺灣商會聯合總會會長錢妙玲引領乾杯後，才藝大賽正式開始，本次才藝大賽有世華日本分會、ONEDAYSCHOOL、北陸臺商聯誼會、山梨臺灣總會、埼玉臺灣總會、在日臺灣原住民聯合會及中華民國留日東京華僑總會等僑團報名參加。

評審們觀看各組精采表演之後，經過激烈討論後評定第一名為ONEDAYSCHOOL、第二名為在日臺灣原住民聯合會曾秋蘭、第三名為北陸臺商聯誼會楊沛煒。

政大雄鷹來日勇奪 WUBS 冠軍 關東僑民到場熱烈加油分享榮耀



駐日本代表處僑務組副組長惠芸與領隊在11日政大獲得首勝後，至後台為游艾喆(圖左5)及教練(圖左6)加油打氣

【東京／綜合報導】第2屆世界大學籃球賽(WUBS)於8月11日至13日在東京代代木體育館進行，來自日本、臺灣、菲律賓、韓國、澳洲、美國及印尼的籃球隊伍展開為期3日賽程，臺灣由國立政治大學的政大雄鷹代表出戰，留日東京華僑總會及華僑協會總會日本分會號召僑胞專程到場為選手加油打氣。

WUBS世界大學籃球系列賽是由樂天集團與一般財團法人全日本大學籃球聯盟(JUBF)聯合舉辦，分別邀請日本的東海大學、白鷗大學、臺灣的政治大學、印尼的

希望之光大學、菲律賓的馬尼拉亞典耀大學、韓國的高麗大學、澳洲的雪梨大學、美國的瑞德福大學及印尼的希望之光大學，將在三天內進行激烈比賽，駐日本代表處擔任後援單位。

8月11日政大雄鷹對上日本東海大學，在控衛游艾喆及「最強外籍生」莫巴耶聯手鞏固禁區，加上吳志銘的精準3顆三分球，終場以81:73旗開得勝。12日挾勝利氣勢，贏得與美國瑞德福大學比賽，挺進決賽。

13日決賽由政大雄鷹對日本白鷗大學，政



僑胞現場加油

大雄鷹一開賽即發動猛攻，上半場以54:33大幅領先，下半場白鷗大學加強防守，迫使政大雄鷹頻頻失誤，得分主力莫巴耶後半場因犯滿離場，最後在末兩秒及游艾喆聯手穩住局勢，終場政大雄鷹以90:84擊敗對手，勇奪第2屆世界大學籃球賽冠軍。

留日東京華僑總會及華僑協會總會日本分會特別號召僑胞到場為選手加油打氣，在政大雄鷹選手進球得分時，高興呼喊，選手失誤時也不忘為選手加油打氣，終場政大雄鷹獲得冠軍時，現場僑胞更是興奮地站起來歡呼。政大雄鷹精采的表現、高超的球技讓僑胞看得直呼过瘾，期盼明年能夠再見雄鷹大展勇姿。

日本關東地區關懷救助協會會長交接 黃宗敏交棒給濱田裕子傳承人溺己溺精神



黃宗敏會長(右)交接給濱田裕子會長(左)，由周學佑副代表(中)見證



紀念合影

【東京／採訪報導】日本關東地區關懷救助協會於8月10日舉行會長交接，駐日副代表周學佑、慈濟日本分會執行長許麗香也都出席共襄盛舉，由黃宗敏交接給新任會長濱田裕子，盼未來在濱田會長的帶領下，關東地區關懷救助協會能繼續發揮人溺己溺的精神，做為僑胞和旅日遊客最強後盾。

日本關東地區關懷救助協會先舉辦會員大會，經過各項報告後，在議題討論上分別談到個人會員和團體會員費用都改為2年2萬日圓，以及會長任期為2年，連選連任最多3任，都獲得全體會員通過，隨後也舉行下一屆會長人選討論，最後由濱田裕子會長獲得大家一致認可，接任新會長一職。

會長黃宗敏表示，經過參加國內舉辦的海外急難救助相關會議，能感受到日本是安全的國家，比起其他國家來說，治安都非常良好，但出門在外還是一定要有保險，不能抱持僥倖的心態，此外這六年要感謝慈濟日本分會和東京媽祖廟、僑務組，以及謝謝大家

的支持，未來也要拜託濱田會長，而大家都在做善事，相信任何事都會大事化小、小事化無。

副代表周學佑表示，這次是懷著最尊敬的心參加交接儀式，關懷救助協會成立六年多來，你們的存在就是社會的光明，也是一種光明象徵，必須向大家致上內心最尊敬的敬意，黃會長在任內其實也為善不欲人知，低調做了許多工作，必須感謝他的辛苦，新任的濱田會長聲譽也是大家有目共睹、佳評如潮，這次能接任會長可以說是實至名歸。

濱田裕子會長表示，首先要先講一句有大家在真好，在座的大家就是好人好事的代表，自己的個性就是很愛幫忙別人，如果看到人家難受，自己也會覺得難受，我會把急難救助擴大到最大，和我的團隊盡全力幫助其他人，也需要大家的鼓勵，要把急難救助做到沒事情，未來也會成立緊急聯絡網，將大家分組，若在緊急時就可以加快聯絡的時間，避免造成浪費時間的情況。

福和會訪日接風餐會 超過百位僑胞出席交換意見



岡山文章會長致詞



紀念合影

【東京／採訪報導】福爾摩沙共和會(福和會)近日由理事長林逸民率團赴日參訪，其中余8月27日由在日台灣同鄉會設僑宴為訪團接風，駐日副代表周學佑、僑務組副組長宋惠芸，以及超過百位僑胞等也出席共襄盛舉，活動中也安排演講，讓大家一起討論台灣的和平、台灣的將來，並與福和會交換意見。

福和會此次從8月24日起訪日，分別前往京都、東京等地，拜會旅日僑胞和日本自民

福和會理事長林逸民除了感謝在日台灣同鄉會的邀請，讓福和會可以與在日本的鄉親見面，同時介紹福和會的歷史與組織，像過去曾多次在疫情期間捐贈醫療物資給日本等，也提到目前美國對台灣的態度有所改變，希望旅日的僑胞們可以努力向日本議員發聲，讓日本能更加支持台灣。

在餐會時，副代表周學佑也出席與福和會和僑胞交流，他表示，要感謝在日台灣同鄉會提供僑社很多的服務，也要特別感謝福和會林理事長，在2021年擔任札幌處長期間，正值疫情嚴峻時刻，福和會捐贈大量醫療物資給北海道地區的醫院，台日關係過去獲得很大進展，都是多虧各位的努力，也再次感謝僑胞對僑社的貢獻和服務。

餐會中也有多位來自台灣的貴賓等人上台致詞，大家也利用難得的機會互相交換意見等，讓現場變得非常熱絡，最後由日本關東信賴台灣之友會會長蕭爾剛致閉幕詞，她也特別感謝福和會在疫情期間對日本的援助，也讓日本更加重視台灣、感受到台灣的熱情等，最後則是大家一同拍攝紀念合影，為活動畫下圓滿句點。

高円寺阿波舞大會睽違四年登場 台灣連第三次熱情演出



日本民眾為台灣連加油打氣

【東京／採訪報導】高円寺阿波舞大會睽違四年再度於8月26日、27日登場，吸引不少日本民眾和外國觀光客前往參加，過去由僑胞組成的台灣連今年也再度與關東、德島學生合同連一同演出，不少日本民眾一看到台灣連都為台灣加油打氣。

今年台灣連第三次參加高円寺阿波舞大會，有30多位僑胞等特別參加同樂，除了走在前頭印有台灣的燈籠受到矚目外，成員身上穿著印有台灣的衣服，都吸引不少日本民眾在隊伍所到之處替台灣加油。

這次演出前，駐日副代表周學佑也特別撥空到練習現場替台灣連加油打氣，周學佑表

示，今天看到大家穿著好漂亮的衣服，尤其是看到台灣兩個字掛在身上，請大家一定要用力、熱情的演出，把台灣的热情展現給日本民眾看。

東京阿波舞台灣連日本總會會長尹世玲也表示，已經與關東、德島學生合同連三年一起在高円寺阿波舞大會上演出，我們的成員中也有人三年都參加，很謝謝大家，這次睽違四年的演出都有點緊張，希望大家可以好好感受日本最有人氣的傳統舞蹈文化。

台灣連首度於2018年以高円寺阿波舞第一個外國人連加入演出，隨後2019年也曾持續與關東、德島學生合同連一同演出，獲得不少好評，之後2019年11月成立東京阿波舞台灣連日本總會，並計畫2020年再度參加高円寺阿波舞大會，但隨之而來的疫情也讓計畫中斷。

雖然計畫中斷，但台灣連仍保持固定的訓練，也會與其他高円寺阿波舞連隊一同練習，像是與朱雀連一同練習，建立起交流等，同時也積極協助高円寺阿波舞與台灣交流，像是今年5月高円寺阿波舞也睽違四年到台灣去公演等，讓台灣民眾認識日本的傳統舞蹈。

體驗客家擂茶糰粿 客家茶飲做外交



紀念合影

【大阪／綜合報導】客家人因應環境生活，造就特有族群性格及客家飲食文化，在客家飲食文化中，獨特的擂茶文化，自古以來即影響著客家人的生活，擂茶不但是客家人逃難存活的救命茶飲，也是客家人招待貴賓的茶點，對於早一輩的客家人而言，更是生活中不可磨滅的記憶。

客委會海外諮詢委員兼大阪伊天町台灣華語教室的陳迦藍校長，於2023年8月5日應邀到公益財團法人大阪國際交流中心舉辦的「2023年I-House 多文化體驗活動」，擔任客家飲食文化講座的講師。

臺灣是一個包含閩南、客家、原住民、新住民的多元文化社會，為了讓更多海外民眾認識及體驗客家飲食文化魅力，在當天的臺灣客家飲食文化講座除了跟大家分享臺灣客家人的歷史及飲食文化，陳校長還特別在講座中安排客家擂茶及客家麻糰(糰粿)的實際DIY體驗。

透過陳校長簡單明瞭的解說及搭配實際的手作體驗，30多位的日本民眾跟著一起，一個搥鉢、一根搥棍，還有香氣四溢的糰粿，大家一起輪流搥茶及做糰粿，做好後一起享用，藉由這樣融入文化傳承與教育意義的講座，讓民眾更進一步體驗到客家茶飲文化的獨特性，也讓許多來參加的民眾紛紛表示客家擂茶，不只是可以吃到美味，也是一種增進人們感情的茶飲文化。

講座的尾聲是綜合座談，參加者們踴躍提出問題，陳校長也一一為大家詳細解說，其中一位參加者表示他與家人們很喜歡臺灣菜，因此經常到臺灣去品嚐美食，因為參加了這次講座及體驗後，對客家美食產生興趣，希望能有機會去臺灣品嚐客家美食，所以請校長為大家介紹幾道客家代表菜以及教大家簡單的客家話及臺灣華語，講座最後就在大家就一起練習說「恁仔細(謝謝)」、「毋使細義(不客氣)」等生活用語，圓滿落幕！

促進台日無人機應用產業技術交流 台日共同舉辦交流會議



ICUSA-GAME2023 與會人士合影

【靜岡／採訪報導】為了促進台日間無人機相關應用產業技術交流，「中華無人系統應用發展協會」(簡稱CUSADA)和靜岡理工大學(SIST)合作，於7月13日共同舉辦ICUSA-GAME2023(2023年國際無人系統於地理、農業、製造和環境領域的應用會議)，吸引台日雙方近80名學者專家參加。會中發表數十篇有關無人機系統應用現況及最新的無人機技術應用成果。

日方與會者有袋井市副市長大河原幸夫，前袋井市市長、袋井市市民交流會會長原田英之，袋井國際交流協會會長上原富夫等各界貴賓，靜岡理工大學校長木村雅和擔任大會名譽主席，機械工學系佐藤彰教授和朱寧教授分別擔任組織委員會主席和學術委員會主席。

台灣方面出席者有CUSADA理事長周玉端，副理事長林宏麟、瑋元科技營運長李慈文，高苑科技大學教授夏紹毅，成功大學教授李振誥，高雄科技大學教授周志儒、蔡宗岳，遠東科技大學教授黃俊榮等學者專家近40人。

「ICUSA-GAME2023」在靜岡理工大學會議廳舉行，該校所在地袋井市，是設計屏東縣二峰圳，對台灣水利有重大貢獻的日本工程師鳥居信平的故鄉，會中特別邀請鳥居信平後裔，東京大學名譽教授鳥居徹，以及研究二峰圳工程三十年的台灣水利專家，屏東科技大學名譽教授丁澈士發表主題演講。

靜岡理工大學機械工學系佐藤彰教授以「日本的無人機應用發展前景」為題，指出日本政府2022年底修正法令，大幅放寬無人機飛行領域限制，未來十年日本的無人機應用產業的市場規模可望增長30倍。靜岡縣政府看好無人機產業趨勢，已制定了促進無人機產業的發展計劃，靜岡理工大學計劃將投入更多資源研究無人應用系統的相關技術，期待台日未來有更多關於無人機的應用技術合作和交流活動。



下半場透過海報展示方式進行技術交流

會中除了有主題演講外，還邀請了學者和業界人士發表論文和實際應用成果，並且邀請靜岡縣內的高中生發表英文報告，為當地的學生提供參與國際交流的機會。

CUSADA理事長周玉端受訪表示，台灣的無人機產業近年蓬勃發展，但是無人系統的應用不是單一技術或專業可以獨立完成，需要更多行業和人才的加入，該協會就是希望結合民間的力量，扮演技術整合，制定方向，培育人才，推動國際技術合作及交流，目標是帶領台灣的無人機產業走向國際。明年計劃將帶領台灣團隊前往越南舉辦國際交流會議。

精緻客家米食 驚豔日本客家學術界



成員們大合影

【大阪／綜合報導】早期臺灣農業社會時期，稻米的豐收象徵著生活安定及對未來的希望，客家農民在種植稻米期間，除了耕作、播種、施肥，還需要防患天災，才能有成熟飽滿的豐收，正因如此每逢豐收時期，客家人特別感恩，因感恩所以珍惜；因珍惜產生敬畏，而客家米食文化就是在背景發展出來，也跟客家人的生活、禮俗及信仰產生了密不可分的關係。

2023年4月東京都立大學河合洋尚副教授邀請日本客家關西崇正會一起參與人間文化研究機構全球地域研究特別研究班，於7月22日下午在大阪舉辦的「日本的客家」第三次研究會。此外，由於2024年秋季將於國立民族學博物館舉辦的「客家與日本」企劃展，故河合副教授也向日本客家關西崇正會提出研究會當天能以「客家料理」及「客家展示」為主軸進行臺日雙方的意見交換。

日本客家關西崇正會的城年德名譽會長偕同中山明惠副會長、陳迦藍幹事長、黃麗文理事、詹子萱理事等重要幹部經過多次討論，完成了要提供給「日本的客家」第三次研究會的研究人員們品嚐的客家米食午茶餐盒的設計，並於研究會當天早上完成餐盒的製作，同時在與會時，由城名譽會長及客委會海外諮詢委員兼日本客家關西崇正會幹事長

陳迦藍為大家解說午茶餐盒裡的六項客家米食小點的涵義及客家米食中的板文化的發展背景。

研究會後，日本客家關西崇正會更是特別舉辦了交流懇親餐會，由鄒孟儒會長帶領10位重要幹部跟日本客家學術研究的研究員們一起，懇親餐會中河合副教授表示很感謝日本客家關西崇正會能在此次研究會中，提供如此精緻有質感的客家米食小點，不僅展示出客家米食的新視野，同時也讓研究員們更瞭解的客家米食中的板文化在客家人生活所佔的重要性，也希望未來能有更多機會可以跟大家進行不一樣的臺日客家文化交流。藉由此次參與「日本的客家」第三次研究會的文化交流，日本客家關西崇正會成功將客家米食中的板文化帶入日本客家學術研究領域，完成了一次亮眼的客家文化推廣，展現出臺灣客家板仔文化的多樣化與豐富性

關西僑團僑胞熱心捐款 助大阪中華學校提升教學品質



紀念合照

【大阪／綜合報導】大阪台灣同鄉會與日本關西台商協會日前分別召開理監事會議，一致同意各捐贈200萬日圓予大阪中華學校，其中大阪台灣同鄉會中理事岡田路子也特別響應，以其子名義捐贈100萬日圓，8月16日大阪台灣同鄉會會長謝美香、副會長鄭彩

琴、岡田路子，以及日本關西台商協會會長楊立寧、副會長中西美姬前往大阪中華學院捐贈，由理事長連茂雄代表受贈，大阪辦事處處長洪英傑、僑務秘書楊慧萍，以及校長蔣輝等人出席見證。

大阪辦事處處長洪英傑表示，大阪中華學校是海外重要僑教據點，未來會全力協助校務發展，希望僑團能繼續支持僑教工作。大阪中華學校理事長連茂雄則感謝僑團及僑胞慷慨捐款，他表示，大家的愛心對挹注學校教學資源，以及提升教學品質有極大的幫助，同時也頒發感謝狀給謝美香、楊立寧及岡田路子，並補發感謝狀予近年多次捐款之中西美姬。

大阪台灣同鄉會謝美香表示，大阪中華學校用心辦學，長年以來培育出許多僑界人才，希望能透過這次的捐贈拋磚引玉，協助學校永續發展。贈儀式結束後，大家也一同進行餐敘交流，對校務現況及未來發展等交換意見。

大阪中華學校創校至今已77年，是西日本地區唯一以正體字教學的正規僑校，為了提升學生數位運用能力並導入E化教學，近年來在各僑團及僑領、僑胞的協助和捐贈下，校方增購大量數位設備，對建立優質教育環境及永續發展甚具助益，蔣輝校長也表示今後將帶領全校教師全力以赴赴僑僑教。

袋井市各界祝賀 丁澈士教授獲得旭日中綬章



袋井市各界為丁澈士教授舉行祝賀晚宴

【靜岡／採訪報導】剛剛於6月28日，在令和5年春的外國人授勳中獲得旭日中綬章的屏東科技大學名譽教授丁澈士，於7月13日參加在靜岡縣袋井市舉行的歡迎晚宴中，受到袋井市各界人士的熱烈祝賀。

上個月6月28日，丁教授從日台交流協會高雄事務所所長與正史手中，接受了來自日

本德仁天皇的旭日中綬章及獎狀。丁教授獲獎的理由是對日本技師鳥居信平在屏東建設的二峰圳(地下水庫)進行了30多年的研究，繼承鳥居技師的功績，負責水庫的維護管理，同時通過研討會等廣泛傳播鳥居技師的功績及研究成果，為促進日本和臺灣之間的學術交流及相互理解做出了很大貢獻。

袋井市和屏東縣素來友好，因為屏東縣的二峰圳設計者鳥居技師來自袋井市，因此聽到了丁教授因為長年研究二峰圳獲獎消息，袋井市各界也紛紛表示祝賀之意。7月13日晚宴中，袋井市各界來賓還邀請丁教授上台，模仿甲子園冠軍賽必出現的動作「胴上げ」，集體將丁教授拋上空中表示慶賀。

丁教授受訪表示，二峰圳工程的特

色是不需要建設巨大的地庫，也不需要用水，完全根據大自然的地形、地勢、地質特性，經過取水、引水、分水等步驟，以規模僅長328公尺的地下水庫，有效收集地下伏流水，經過分水渠道，可以灌溉屏東平原3000公頃土地，在完工100年後的今天，依然運作良好。不僅在一百年前創造台糖的大規模甘蔗產量，直到今日仍然灌溉著萬隆農場，而且由於地下水庫具有自然過濾機能，清澈的水流除了灌溉亦可作為飲用水，使屏東縣在乾旱季節也很少發生缺水問題。

丁教授和他的團隊正致力於將二峰圳工法推廣到其他容易缺水的地區，希望找到合適的地理位置，建立類似二峰圳的地下水庫，解決南台灣地區容易缺水的問題。

玉山法律相談所

事實與意見

筆者常見當事人混淆「事實」與「意見」。例如，筆者向當事人詢問「事實」的時候，當事人只給筆者一堆「意見」。筆者也見過在證人台上被詢問「事實」的時候，不正面回答，卻只表明自己「意見」的當事人。

混淆「事實」與「意見」的對話只是雞同鴨講，浪費時間，甚至會造成發問人對自己的信賴。因此，特以本文講述其差異，期讀者培養區別「事實」與「意見」之能力。

事實中包含具有客觀性的細節、 而意見只是個人的主觀

如果有人說「他狼心狗肺，該下地獄」的話，很明顯這只是發話人自己的意見而已。「他騙了很多人，該繩之以法」也幾乎只是單純的個人看法，只屬「意見」。除非發話人能詳述「他騙了很多人」的具體事實關係，這發言才算有其事實上的根據。

其他還有，「大家都這麼說」「大家都知道」也不算包含客觀性細節的回答。除非發話人能具體說明為何大家都知道等事情。通常，發問人是因為不知道所以才問問題的，因此向這位不知道的發問人回答「大家都知道」一事，簡而言之，是個矛盾的論理。

舉例來說，在律師調查某筆帳是否是A先生出的錢一事(這類的調查在A先生的遺產繼承案件中常遇到)時，「大家都知道是A先生出的」的回答只是在浪費發問人的時間。如果回答人真的希望協助調查的話，應該詳細告知「(例)A先生在某一去銀行辦事的時候就順便匯款了」、「(例)A先生於某一天在某處將現金直接交付給某人了」、或是「(例)在某某會議上討論到『A先生出資部分的還款時程』一事，所以出席該會議的全員都認知該筆帳是A先生出的錢」。

「事實」可陸續研討其正確性， 而「意見」只是死胡同

以上述「A先生出錢」之例來看。如果只是「大家都知道」這種純屬個人看法的抽象理由的話，無法繼續探究其真偽。所以最後只是信者恆信，不信者恆不信的對立狀態。

不過，如果理由中附有可確認的周邊相關事實的話，即可能評估其理由之可信程度。例如從A先生的銀行存摺記錄上或許可判定其當天是否可能去了銀行。如此，可以逐漸接近事實的真象。即使真相無法水落石出，也可藉此比對各家說法的優劣。

拒絕說明事實的話， 反而可能會被推測出不利事實

筆者曾在法廷上詢問敵對當事人「這領收書是您簽的嗎？」一事。該當事人的回答是「簽了名字也不表示自己理解其內容」。這回答只屬其「意見」，不為任何事實的回答。事實的回答方式只有「是」或是「不是，這不是我的筆跡」之類的回答而已。該敵對當事人因為不願承認是自己的筆跡，為了迴避責任因此不正面回答。

其實這種回答方式對當事人自己也沒有好處。因為法官觀察了這段問答之後，很自然的能理解到「這個領收書是當事人自己簽的。只是在繞彎子而已」。而且法官也會很自然的認為這個當事人不是個誠實的人。這是法院認定事實的固定手法。簡而言之，拒絕回答自己直接認知之事實的話，即等於承認關於該事實之敵方主張。日本民事訴訟法208條明訂無正當理由拒絕回答時「尋問事項に関する相手方の主張を真実と認めることができる」。這叫做不利事實的推測。

民事訴訟法

(不出頭等的效果)
第208条 当事者本人を尋問する場合において、その当事者が、正当な理由なく、…陳述を拒んだときは、裁判所は、尋問事項に関する相手方の主張を真実と認めることができる。

總之，被問到「事實」的時候，該正面回答，別繞彎子，也不該只發表自己的「意見」，這樣發問人才會覺得你是誠實的人

(本文由玉山法律事務所提供)



日台經濟交流促進會登場 促進日總與熊本當地商工會交流



日本台灣商會聯合總會總會長錢妙玲致詞



熊本縣商工會連合會會長笠愛一郎致詞



蒲島郁夫縣知事致詞

【熊本／採訪報導】日本台灣商會聯合總會於8月28日與熊本縣商工會連合會、熊本縣商工會議所連合會一同舉辦日台經濟交流促進會，希望能促進台商與熊本當地商工會的交流，也讓熊本更加了解台灣，活動吸引雙方共計一百多位成員報名，熊本縣知事蒲島郁夫與福岡辦事處處長陳銘俊也出席和大家交流。

接著由福岡辦事處處長陳銘俊以台灣與九州過去、現在、未來為主題進行演講，陳處長提到從日治時代開始許多九州出身的日本人都為了台灣犧牲奉獻，不論是教育、衛生、生活等各層面，現在因為台積電的關係，讓熊本與台灣交流變多，但在那之前不論是遇到天災等，台灣與日本就像兄弟一樣互相扶持，而現在日本可以看

自己與熊本的互動也有十年之久，一直以來對熊本都有特別感情，尤其是熊本開啟與台灣的直通航班時，自己也參與其中。

錢總會長也提到，日總組織非常龐大，往上還有亞總和世總，所以與日總交流不是只與日本的台商交流，而是可以與全世界的台商交流，而且這次活動除了要感謝熊本縣商工會連合會、熊本縣商工會議所連合會的協助，還要感謝蒲島縣知事和木村副知事的支持，以及理事們如此踴躍出席，日總成員經營的事業非常廣泛，如果今後有需要幫助時，日總也會盡全力協助。

蒲島郁夫縣知事也帶著熊本熊一同登場，他表示，很感謝邀請他與熊本熊一同參加今天的日台經濟交流促進會，也很高興看到場面如此盛大，台積電在熊本設廠後，已經有600人移居到熊本，也很感謝日總為這些移居者在熊本生活提供許多意見，之後為了讓他們能安心在熊本生活，除了會安排志工協助他們解惑外，這個月底也會與熊本日日新聞社、熊本市等合作，在縣內開設許多交流據點，並舉辦各式各樣活動促進交流，也期待經過今天的交流，能深化台灣與熊本的經貿交流。

蒲島知事也說，過去熊本地震和令和2年的兩災時，都曾受到日總的援助，在此也要表達深深的謝意，現在熊本也朝復興的方向持續前進，希望大家可以一同來見證，剛好迎來地震七週年，明年2月將舉辦熊本產業復興的相關活動，除了會有限內外和台灣的半導體關係企業出席，也會傳達熊本復興的狀況，希望大家都可以出席共襄盛舉。

之後熊本熊也帶來可愛且精彩的舞蹈演出，獲得滿堂熱彩，錢妙玲總會長也與笠愛一郎、熊本縣商工會議所連合會會長久我彰登交換紀念品，並在久我會長帶領下，宣告懇親會正式開始，會中日總成員與熊本交流非常熱烈，錢總會長也特別介紹日總幹部，並帶領大家向熊本致謝，最後眾人也一同合影留念，讓活動順利落幕。

台日友情零時差!「TAIWAN PLUS 2023 台日一緒に」9月再度登場



自民黨青年局代理局長佐藤啓致詞



駐日代表謝長廷致詞



記者會紀念合影

【東京／採訪報導】日本過去備受關注的台灣文化祭之一「TAIWAN PLUS」即將於9月16日、17日再度舉辦！主辦單位文化總會於8月8日在東京誠品日本橋舉辦宣傳記者會，吸引超過30家日本媒體前往採訪！去年「TAIWAN PLUS」在短短2日即創下20萬參與人次，今年將再度與誠品生活合作，拓展第二現場，集結破百組台灣在地品牌，用美食、音樂、設計，讓台灣最新、最潮流的Life Style在東京無時差展現！

今日記者會現場，由藝人薛詒丹赴日帶來演出，駐日代表謝長廷、日本自民黨青年局代理局長佐藤啓、立委趙天麟、誠品總經理李介修、文化部駐日台灣文化中心主任王淑芳、東京台貿中心主任鄧之誠、觀光局駐東京辦事處處長鄭憶萍、初耳創辦小路輔、華航東京分公司總經理張鴻

鐘、信義房屋不動產株式會社社長王茂桑、Kenji健司總經理黃俊杰等人都出席共襄盛舉。

駐日代表謝長廷致詞時表示，「TAIWAN PLUS」去年活動創下20萬參與人次，雖然台日沒有正式建交，但是長期友情緊密，疫情期間，台日捐贈日本口罩，日本則捐贈台灣疫苗，彼此像兄弟一樣緊密，他認為鄰國就應該如此，台日一起維護和平度過每一天。

自民黨青年局代理局長佐藤啓特別繫上活動主視覺的橘色系領帶出席會場，他表示，台日一直是朋友、夥伴，困難的時候彼此幫助，希望更多日本人更加喜歡台灣，他會盡力宣傳這個活動，並鼓勵日人到台灣觀光、留學、工作，讓訪台人數增加。

「TAIWAN PLUS」過去已舉辦三屆，吸引無數日本人，首屆旨在推廣台灣的多元文化；第二屆「台灣新感覺」用五感體驗讓日本感受台灣文化；第三屆揮別疫情以「台灣吉日」為題，祈福台日人民平安，台日雙方透過民間交流持續加深情誼。今年第四屆以「台日一緒に」(台日一起)為主題，代表雙方更為緊密，台日共好、共創。



代木台灣 FESTA 登場

眼吸睛，也更直接吸引對臺灣產品有興趣的買主，本次如DCM、KOHANAN等大型

HOME CENTER都前來洽談，後續商機可期。

2023年日本DIY展以「Home Improvement Centers you can always rely on - Look! Touch! Find!」為主題，展館劃分為五金手工具、建材、塗裝用品、家庭用品、園藝及戶外用品等產品主題區，展出電動工具、居家日用等產品，並辦理「展中貿易洽談」以及展後「大型Home Center考察團」等活動，以提升參展業者參展效益。為了讓參觀者能有更好的互動體驗，本展同時也推出「DIY商品大賽」(DIY Product Competition)，吸引了不少DIY愛好者前來朝聖。

貿協率我五金業者 重返日本 DIY 展

【東京／綜合報導】日本規模最大的五金手工具展「Japan DIY Home Center Show 2023」於8月26日圓滿閉展，今年計有來自全球6國超過517家參展商參與，使用攤位達1120個，規模已恢復疫情前盛況。貿協籌組臺灣館3天共吸引1758位買主與我參展

商洽談，預估商機1,100萬美元。

臺灣素有手工具王國美名，外銷業績亮眼，日本為臺灣第四大出口市場，為協助臺灣五金手工具產業拓展日本市場，由經濟部國際貿易局主辦、外貿協會執行的日本DIY展臺灣國家館，包括萬能

鉗製造大廠，臺灣出口第一，全球市佔第二的共茂工業、防護安全產品製造大廠競泰、膠帶大廠四維創新以及東立、杭締等25家代表性業者，展出五金手工具、家居、戶外等產品。

臺灣館今年首度於展館所在千葉縣海濱幕張車站月臺以及往返東京千葉的JR京葉線車廂內刊登宣傳廣告，並於現場發送宣傳DM，大幅提升臺灣館能見度，成功吸引許多大型買主前來洽詢合作機會。去年獨立參展，今年首度加入臺灣館的老牌膠帶大廠四維創新表示：臺灣館裝潢設計完

想學日語嗎

熱烈歡迎 台灣學生

位於大阪市中心的四棟校舍
大阪外語學院成立 32 周年。有四棟交通便利的校舍迎接你的到來。

歡迎短期留學

除了以升學為目標的日語學習班外，我們根據學生的需求，提供從日常生活會話到商務日語的親切指導。歡迎短期留學，對住在日本的學生提供優惠的課程。

附設升學指導補習班

附設升學補習班 AIM 日進學院，講師陣容來自東京大學、大阪大學、慶應義塾大學等。並取得出色的錄取成績，包括大阪大學、大阪市立大學、同志社大學、東京理科學等。

我在二十多歲創辦學校，在撫養三個小孩的時，作為許多留學生在日本的母親，我照顧過許多國際學生，對於父母擔心孩子的心情十分理解並感同身受，請放心將您的孩子託付給我。

理事長 阪本 晃子



完善的宿舍，充實的獎學金制度

特等生	日語能力考試 N1 合格者	10 萬日元
獎學生	日語能力考試 N2 合格者	2 萬日元
全勤獎	3 個月出席全勤學生	6000 日元



大阪外語学院



info@osaka-gaigo.jp

06-6241-6677

http://osaka-gaigo.jp

優惠券

*凡報名一年以上日本語課程者 憑此優惠券可享有入學金

¥50,000 OFF

81886.shop日台生活館厳選

美食を食べ尽くそう! 全日本をお届け!



通販サイト <https://81886.shop/>
お問い合わせ 03-5917-0048

01 冷凍

- | | | | | | | |
|---------------------|-------|-------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| | | | | | | |
| 972円 | 972円 | 580円 | 580円 | 918円 | 900円 | 600円 |
| | | | | | | |
| 1盒 900円
6盒 5400円 | 5000円 | 2640円 | 2ヶ 1500円
10ヶ 6500円 | 600円 | 850円 | 780円 |
| | | | | | | |
| 2700円 | 1944円 | 800円 | 990円 | 5ヶ 3000円
10ヶ 6000円 | 4ヶ 3000円
10ヶ 7500円 | 6ヶ 3600円
12ヶ 7200円 |
| | | | | | | |
| 1080円 | 1200円 | 486円 | 486円 | 500円 | 702円 | 1980円 |
| | | | | | | |
| 960円 | 842円 | 980円 | 980円 | 960円 | 930円 | 900円 |
| | | | | | | |
| 1404円 | 702円 | 1480円 | 780円 | 730円 | 702円 | 540円 |

07 冷蔵

常温

- | | | | | | | |
|-------------------------|-----------------------|----------------------|------------------------|------------------------|----------------------|------------------------|
| | | | | | | |
| 1200円 | 1100円 | 3500円 | 3500円 | 4860円 | 7560円 | 800円 |
| | | | | | | |
| 1080円 | 6ヶ 2580円
10ヶ 3680円 | 2500円 | 3ヶ 1620円
1ケース 6000円 | 3ヶ 1620円
1ケース 6000円 | 3300円 | 378円 |
| | | | | | | |
| 378円 | 1680円 | 880円 | 799円 | 680円 | 490円 | 972円 |
| | | | | | | |
| 250g 756円
737g 1480円 | 1000円 | 900円 | 378円 | 594円 | 540円 | 105g 324円
240g 648円 |
| | | | | | | |
| 1本 180円
15ヶ 3960円 | 1本 250円
15ヶ 4800円 | 1本 300円
15ヶ 5760円 | 1本 210円
15ヶ 4320円 | 1本 180円
15ヶ 3960円 | 1本 250円
15ヶ 4800円 | 1本 250円
15ヶ 4800円 |
| | | | | | | |
| 1本 250円
15ヶ 4800円 | | | | | | |

【注意事項】

★注文形態冷凍/常温/冷蔵の製品出荷は梱包がそれぞれとなりますので、1形態毎に送料が別途かかりますのでご注意ください。
★製品によっては送料サービス品もありますので、1形態の合計金額から対象外となります。